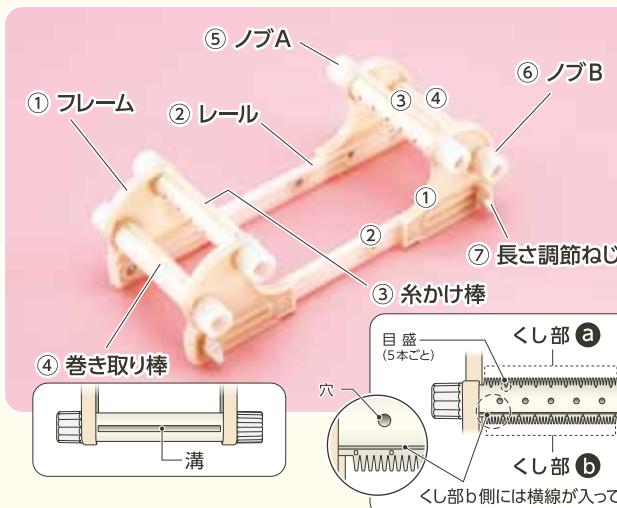


●各部の名称●



- ① フレーム
- ② レール
- ③ 糸かけ棒:たて糸を張るときには使います。
- ④ 巻き取り棒:たて糸の糸端の固定や、長い作品を巻き取るときに使います。
- ⑤ ノブA]:糸かけ棒と巻き取り棒を回すときに使います。
- ⑥ ノブB] 詳しくは下記の「糸かけ棒・巻き取り棒の回し方」をご覧ください。
- ⑦ 長さ調節ねじ:織り機の長さを調節するときに使います。

くし部 a

シリンドービーズ(11/0)用
※ビーズ織りに適した筒型のビーズ



最大織り幅:約6.5cm
たて糸本数:44本
ビーズの数:43個

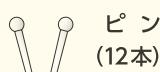
くし部 b

丸小ビーズ用



最大織り幅:約6.3cm
たて糸本数:40本
ビーズの数:39個

付属品



たて糸を張るときに
使います。
(張り方Aの場合のみ)



たて糸を固定するときに使
います。たて糸をとかせる
くしがついています。



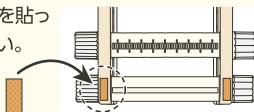
作業中や持ち運び時に
たて糸がはずれるのを
防ぎます。



スレーダー

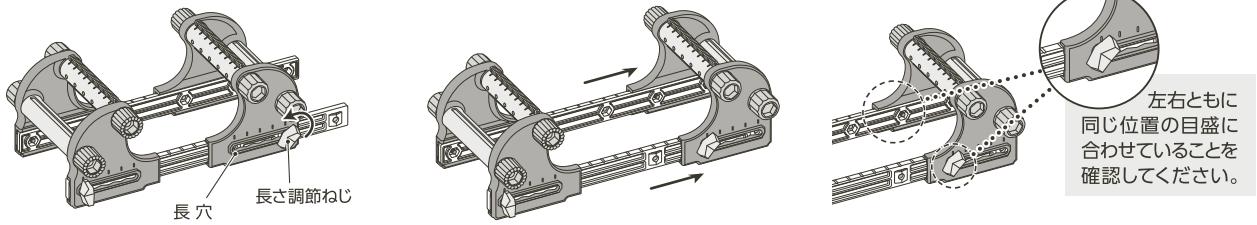


すべり止めテープ(4枚)
作業中織り機が動く場合は裏側にすべり止
めテープを貼っ
てください。



■ 織り機の長さ調節方法 作品の大きさに合わせて織り機の長さを調節できます。

● レールとフレームの長穴の目盛に合わせて1cm単位で調節できます。

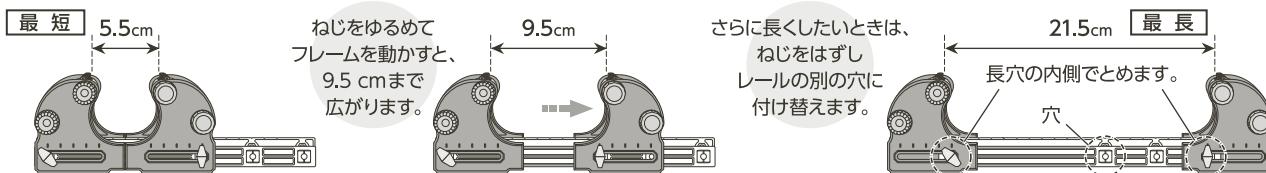


① 左右の長さ調節ねじをゆるめます。

② フレームを動かします。

③ 希望の長さになったら、左右のねじを締めます。

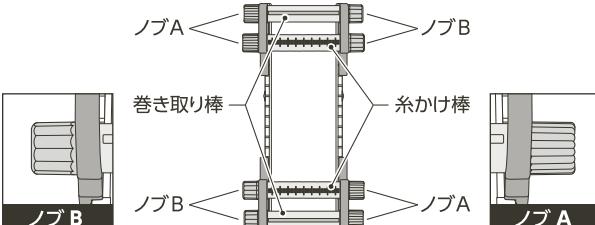
●ねじをとめる穴を変えると、糸かけ棒のくし部～くし部内を5.5cm～21.5cmまで調節できます。



■ 糸かけ棒・巻き取り棒の回し方

- ① ノブAを反時計回りに回してゆるめます。
- ② ノブBを必要な方向に回して棒を回転させます。
- ③ ノブAを時計回りに回して締め、棒が動かないことを確認します。

* ノブAがしっかりと締まっていないと、
たて糸をかけている最中に棒が動いてしまい、糸が均一に張れません。



張り方 [A]

19cmまでの小さい・短い作品を織るとき

ピンを使ってたて糸を張ります。

●たて糸の本数 = 作品の目数(よこ糸に通すビーズの数) + 1

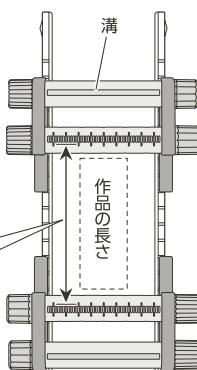
たて糸がつながっているので、
使用する糸が短くすみ、
糸始末が簡単です。

- 1 織りたい作品の長さに合わせて、織り機の長さを調節します。

糸かけ棒のくし部と巻き取り棒の溝を真上に向けます。

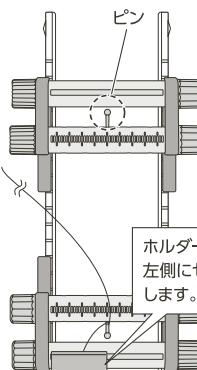
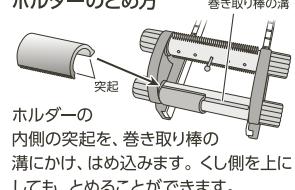
※ 使用するビーズに合ったくし部側が上を向いていることを確認してください。

糸かけ棒のくし部～くし部内の距離を
作品の長さ+2~2.5cmにしてください



- 2 糸かけ棒の外側の穴にピンを差し込みます。たて糸の端をホルダーで巻き取り棒に固定し、ピンの根元に2~3回巻きつけます。

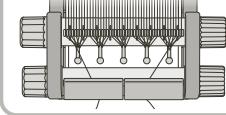
ホルダーのとめ方



- 3 手前側の糸かけ棒のくし部の溝→反対側の溝に、平行になるように糸をかけ、左→右にピンにかけて戻ります。これを繰り返します。

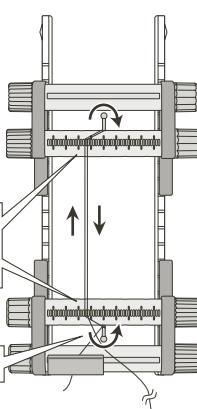
★均一な強さで張るように意識しましょう。

たて糸の本数が多い場合
ピンの本数を増やし、
均等に分散させてかけます。



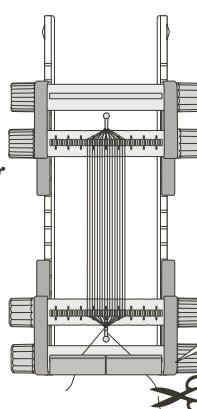
目盛を見て、
平行になるよう
にかけます。

左→右へ



- 4 必要な本数が張れたら、糸をピンに2~3回巻きつけてから、ホルダーで巻き取り棒に固定し、糸端をカットします。

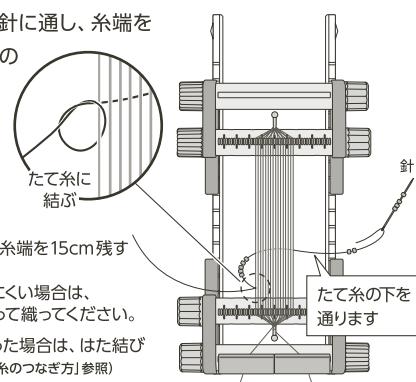
たて糸の張り具合を調整したい場合は、糸かけ棒を回転させて調節します。
きつく張りすぎると、織り地が波打つ原因となるので注意しましょう。



たて糸の本数が奇数の場合は、
反対側でとめます。

基本の織り方

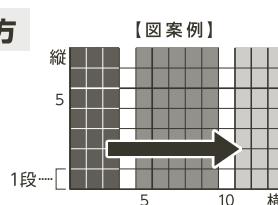
- 1 よこ糸(約1.5m)を針に通し、糸端を約15cm残して左端のたて糸に結びます。よこ糸をたて糸の下にくぐらせて、1段目のビーズを糸に通します。



※ よこ糸が長くて織りにくい場合は、織りやすい長さに切って織ってください。
※ よこ糸が足りなくなった場合は、はた結びでつなぎます。(よこ糸のつなぎ方)参照

ビーズの通し方

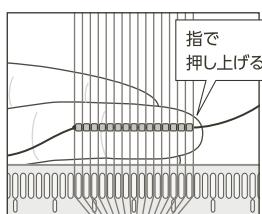
ビーズは、左→右に
図案を見ながら、
1段分を全て針に
通します。



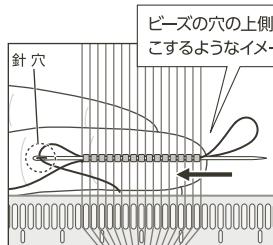
【針にビーズを通したところ】

下の方から織ります。

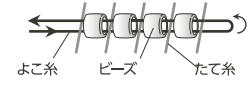
- 2 ビーズをたて糸の下に移動させ、指で押し上げて、左側からたて糸の間に1個ずつビーズを入れます。



- 3 ビーズを指で押し上げたまま、たて糸の上を通るように、針を針穴側からビーズに入れます。



たて糸の上下をよこ糸ではさみ、
ビーズを固定します。



張り方 [B]

19cm以上長い作品を織るとき（最長：約1.3m）※ビーズ・糸、巻き取る紙の種類によって多少変わります

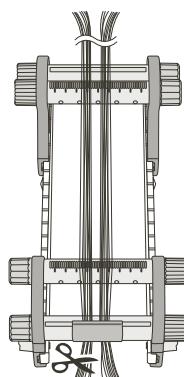
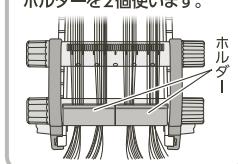
ピンは使いません。巻き取り棒にたて糸を巻き取るので、長い作品を織ることができます。

●たて糸の本数 = 作品の目数（よこ糸に通すビーズの数）+ 1 ※たて糸や作品を巻き取る際に、紙を使います。（「巻き取る紙について」参照）

- 1** 織りたい作品の長さに合わせて、織り機の長さを調節します。（一番長い状態にすると織り地の模様が確認しやすいです）

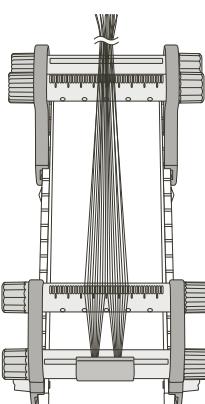
織りたい作品の長さ+40cmのたて糸を必要な本数準備します。10本ぐらいずつ束にして、ホルダーで手前の巻き取り棒に固定し（※左の「ホルダーのとめ方」参照）、糸端を5mmほど残してカットします。

たて糸が20本以上の場合は、ホルダーを2個使います。

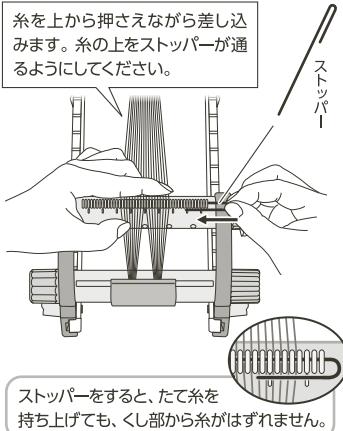


- 2** 手前側の糸かけ棒のくし部にたて糸を1本ずつかけます。

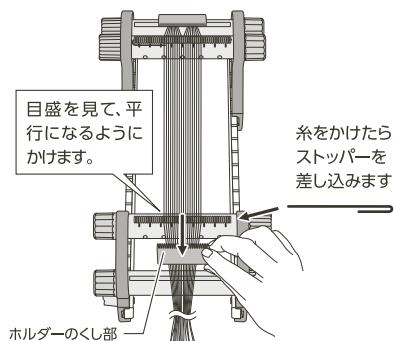
※ 使用するビーズに合ったくし部側であることを確認してください。



- 3** 糸かけ棒のくし部の端の穴からストッパーを差し込みます。

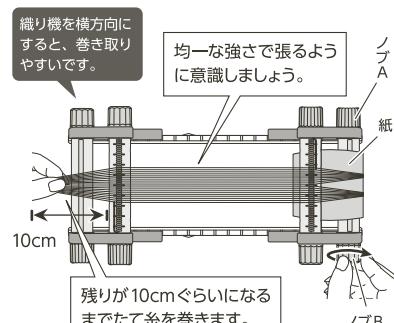


- 4** 織り機の奥側を手前にし、方向を変えます。ホルダーのくし部でたて糸をとかし、手前側の糸かけ棒のくし部に②と同様に糸をかけていきます。かけ終わったら③と同様にストッパーを差し込みます。



- 5** 紙と一緒にたて糸を巻き取ります。

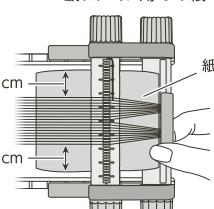
ホルダーで固定した側の巻き取り棒のノブAをゆるめて、たて糸を手で軽く張りながら、ノブBを回して巻き取っていきます。



・巻き取る紙について

織り幅より2cmほど幅が広く、長さが15cm程度の紙をお使いください。紙が足りなくなったら、新しい紙を同じように巻きます。

適した紙：コピー用紙などの破れにくい薄めの紙

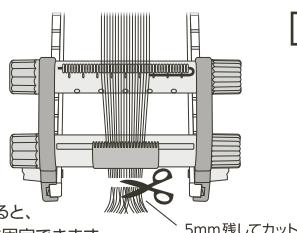


始めは指で紙を押さえながら、棒を持って回すと巻き取りやすいです。

- 6** たて糸を引っ張り、巻き取り棒にホルダーで固定します。

糸端を5mmほど残してカットします。

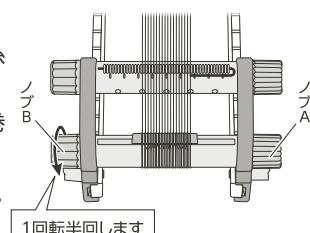
★くじでとかしながら固定すると、たて糸が重ならずきれいに固定できます。



- 7** 両方の巻き取り棒のノブAをゆるめ、手前のノブBを1回転半回してたて糸を巻き取ります。（※糸始末用の分です）

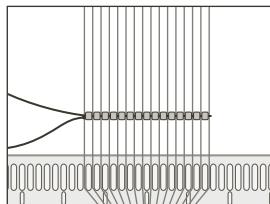
たて糸の張り具合を調整し、両方の巻き取り棒のノブAを締めてください。

※ 織るときは手前側から織っていきます。

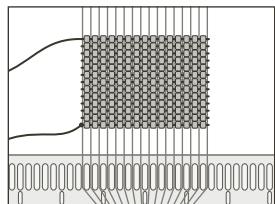


←裏面（左）**基本の張り方** の続きです。

- 4** 1段織りました。



- 5** 2段目からも同様に、1段ずつ繰り返し織っていきます。



たて糸の上を通っているか確認してください

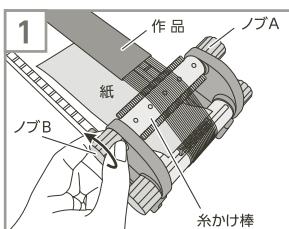
※針先側から入れると、たて糸を割ることがあるので、針穴側から入れます。

※針が一度で通せないときは、途中で針を出しつけて、数回に分けて通します。

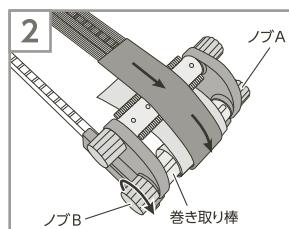
作品の巻き取り方

織り進んで織る場所がなくなったら、作品を巻き取ります。

均一に巻き取れるように、織れた作品の下に紙を敷いて、一緒に巻き取ってください。(ビーズ同士の擦れも防ぐことができます)



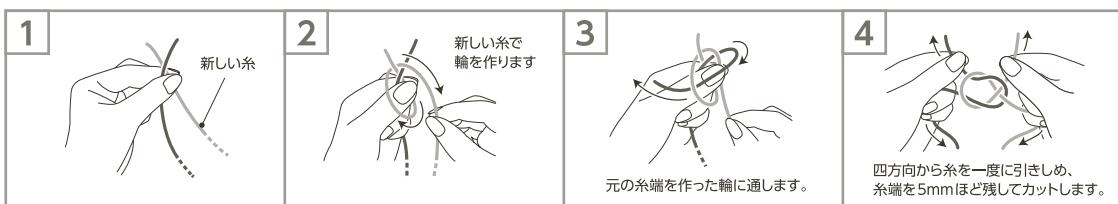
手前側の糸かけ棒のストッパーを抜きます。糸かけ棒のノブAをゆるめ、くし部が水平になるようにノブBを回します。



両方の巻き取り棒のノブAをゆるめ、手前側の巻き取り棒のノブBを回して巻き取ります。

よこ糸のつなぎ方(はた結び)

結び目はビーズの中に隠しましょう。



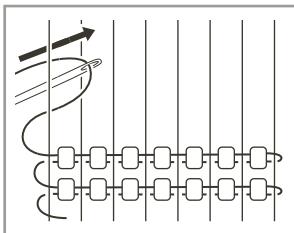
減らし目・増やし目の方法

途中で形を変えたいときは、減らし目・増やし目をします。

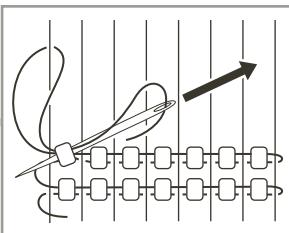
※図は糸の通し方が分かりやすいように、ビーズを小さく描いています。

● 減らし目

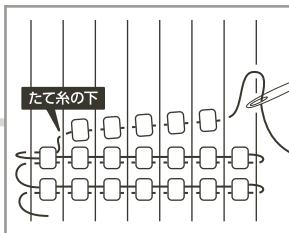
※両端を1目ずつ減らす場合で説明しています。



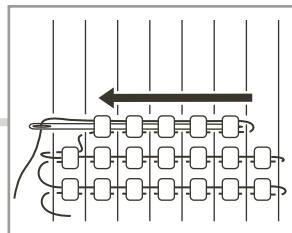
①たて糸の左端をくい、針を上に出します。



②減らしたい目数分、針を頭からビーズに通します。



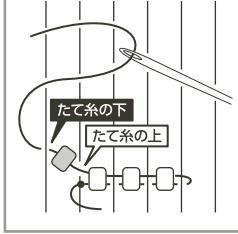
③たて糸の下に針を出し、必要数ビーズを通し、針を上に出します。



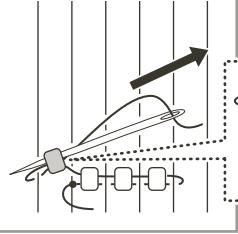
④基本の織り方と同じように針穴側からたて糸の上を通して戻ります。両端が1目ずつ減りました。この繰り返しで目を減らします。

● 増やし目

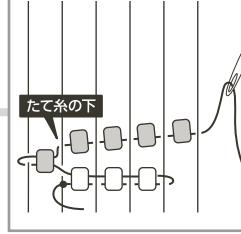
※両端を1目ずつ増やす場合で説明しています。



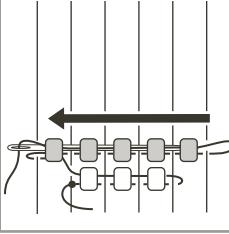
①増やしたい目数分ビーズを通して、たて糸の下に針を出します。



②図のように増やしたビーズの中を、たて糸の上を通して戻します。



③たて糸の下に針を出し、残りの必要数ビーズを通して戻します。



④針穴側からたて糸の上を通して戻ります。両端が1目ずつ増えました。この繰り返しで目を増やします。

使用上の注意

- 用途以外でのご使用はお避けください。
- 過度の力を加えると破損や変形の原因となります。
- 長期間使わない時は、ホルダーを巻き取り棒からはずしてください。
- 織り機や付属品をお子様の手の届かないところに保管してください。
- 火気の近くや、直射日光のあたる場所、高温になる場所での保管はお避けください。

- お手入れの際は、軽く湿らせた布で拭いてください。シンナーやベンジンなどの溶剤のご使用はお避けください。

※針が変形・破損した場合は、別売の「57-274 ビーズ織り針<中>(5.5cm)」をお買い求めください。広幅の作品に適した「57-273 ビーズ織り針<長>(9.3cm)」、作品の仕上げや細かい作業に便利な「57-275 ビーズ織り針<短>(3.3cm)」もございます。

ビン・ホルダー・ストッパー・すべり止めテープの紛失や破損等でご購入をご希望の方は「お客様係」までお問い合わせください。

クロバー株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5

「お客様係」TEL.(06)6978-2277

② 本製品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

©2014 CLOVER

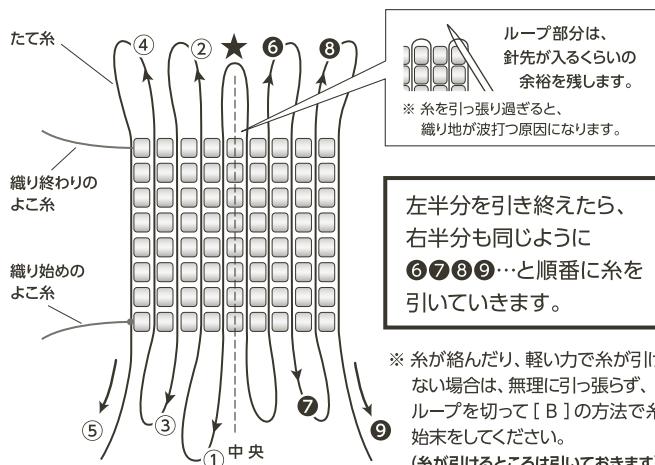
101402

たて糸の始末

張り方 [A] の場合

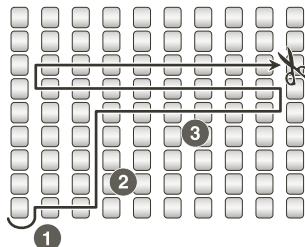
- 1 机など平らな場所に表に向けて作品を広げ、形を整えます。たて糸を中央から左右に分け、中央の糸から順にたて糸を引きます。**①**を引くと★マークの部分の糸が動きます。**②③④⑤…**と順番に引いていきます。

※ 常に中央側の糸を引くようにしてください。
※ 糸が絡まらないように注意しながら、ゆっくりと引いてください。
※ 作品が動いて糸が引きづらい場合は、作品をマスキングテープで机などに貼り付けて固定してください。

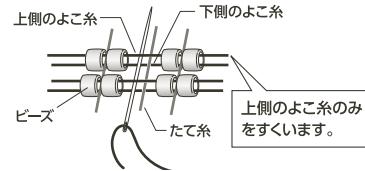


- 2 糸を引き終わったら、15cmほど残してカットし、図のように始末して、糸を隠します。

★なるべく同じ場所を通らないようにした方が仕上がりがきれいです。



- 1 左端から2個目のビーズに針を入れ、2~3個通します。
2 2段目からよこ糸の間に針を通して、4~5段上がります。

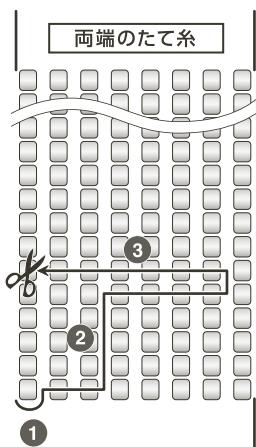


- 3 ビーズの中を通り、端の1個手前で針を出し、ビーズの際でカットします。

張り方 [B] の場合

織り終わったら、巻き取り棒を逆に回して作品とたて糸をゆるめ、ホルダーとストッパーをはずして織り機から作品をはずします。たて糸の両端を15~20 cmくらいに切りそろえます。

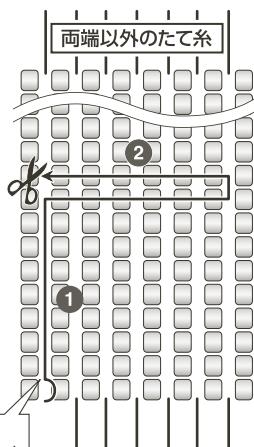
★なるべく同じ場所を通らないようにした方が仕上がりがきれいです。



- 1 左端から2個目のビーズに針を入れ、1~2個通します。

- 2 2段目からよこ糸の間に針を通して、3~4段上がります。
(※[A]の②-②の図参照)

- 3 ビーズの中を通り、端の1個手前で針を出し、ビーズの際でカットします。



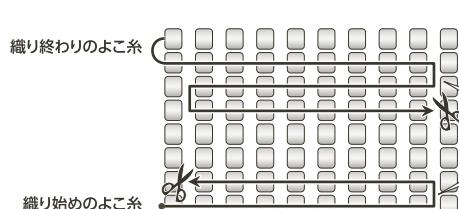
- 1 2段目からよこ糸の間に針を通して、数段上がります。

- 2 ビーズの中を通り、端の1個手前で針を出し、ビーズの際でカットします。

他のたて糸も同じように糸始末をしてください。

よこ糸の始末

ビーズの中を通り、端の1個手前で針を出し、ビーズの際でカットします。



幅が細い作品の場合は、よこ糸の間を通す距離(段数)を増やすなどすると、糸端が出てきにくくなります。

BEADING LOOM recipe

Earrings パッケージ正面 右下の写真 3. の作品

イヤリングの作り方

織り上がり寸法：約 2.5 cm × 2.6 cm (17 目 × 15 段)

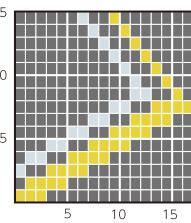
[材 料]

- ・シリンダービーズ (11/0)
黒 2.4 g / ゴールド 0.6 g / シルバー 0.3 g
- ・カットビーズ
(5 mm) グレー 2 個 / (4 mm) ゴールド 2 個
- ・イヤリング金具 1組
- ・丸カン (4 mm) 4 個
- ・ビーズ用糸 (#60 ポリエチレン) 黒

[作り方]

- ① 織り機のくし～くし間を 5.5cm (一番短くした状態) にセットします。
- ② [たて糸の張り方 A] でたて糸を 18 本張り、図案通りに 2 枚織ります。
- ③ たて糸、よこ糸の始末をします。
- ④ 新しい糸を織り地にジグザグに通し (★)、図のように上側に金具・下側にビーズをつないで、できあがりです。

イヤリングの図案

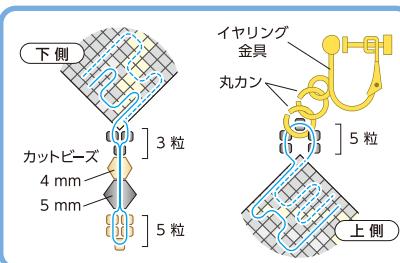


★ ジグザグに通す

織り地に装飾をするときは、新しい糸を織り地にジグザグに通してから始めます。

端から 1~2cm 離れたところから針を入れ、よこ糸の間を 2~3 段通しながらジグザグに進みます。終わる時も同様です。

※なるべく同じ場所を通らないように、気をつけてください



Bracelet パッケージ正面 右上の写真 2. の作品 (周りのプレスレットは色違いです)

プレスレットの作り方

織り上がり寸法：約 1.1 cm × 16.3 cm (8 目 × 97 段)

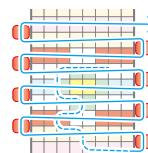
[材 料]

- ・シリンダービーズ (11/0)
赤 1.4 g / オレンジ 1.3 g / 白 1.2 g / 青緑 1.2 g
ピンク 0.7 g / 青 0.4 g / 黄色 0.2 g
- ・パール (8 mm) 1 個
- ・ビーズ用糸 (#60 ポリエチレン) 白

[作り方]

- ① 織り機のくし～くし間を 18.5cm にセットします。
- ② [たて糸の張り方 A] でたて糸を 9 本張り、図案通りに織ります。
- ③ たて糸、よこ糸の始末をします。
- ④ 新しい糸を織り地にジグザグに通し (★)、図のように、縁にピコットをつけます。
- ⑤ 新しい糸を織り地にジグザグに通し (★)、図のように、留め部分 (ループとボール) を作って、できあがりです。

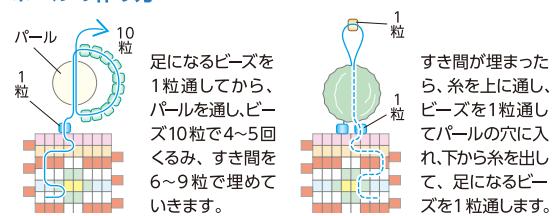
ピコットのつけ方



ループの作り方



ボールの作り方



閉じ合わせ方

※ 図は分かりやすくするために、ビーズの色を変えています。
内側のたて糸を始末してから、両端のたて糸を始末します。

[1. 内側のたて糸]

織り地をつき合わせ、向かいのたて糸が通っている部分 (よこ糸の間) に 8~10 段通し、ビーズの中を通して端に出し、カットします。
反対側も同様に始末します。

[2. 両端のたて糸]

図のように、ビーズの中を通して端に出し、カットします。
反対側も同様に始末します。

Necklace パッケージ正面 左上の写真 1. の作品

ネックレスの作り方 (約 85cm と約 75cm の 2 本組)

織り上がり寸法：約 0.4 cm × 85 cm (3 目 × 496 段)
約 0.4 cm × 75 cm (3 目 × 448 段)

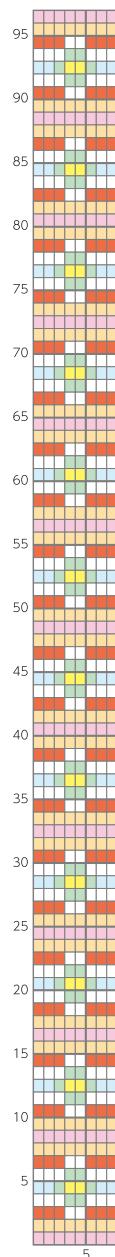
[材 料]

- ・シリンダービーズ (11/0)
好みの色 (16 色) 各 1.1 g
- ・ビーズ用糸 (#60 ポリエチレン) 好みの色

[作り方]

- ① 織り機のくし～くし間を 21.5 cm (一番長くした状態) にセットします。
- ② 長さ 約 125 cm (長い方用)・115 cm (短い方用) のたて糸を各 4 本準備し、[たて糸の張り方 B] でたて糸を張ります。
(両端のたて糸を 2 本取りにすると丈夫になります)
- ③ 図案を繰り返し、16 色分織ります。
- ④ 図のように、たて糸の始末をし、輪になるように閉じ合わせます。
- ⑤ よこ糸を始末して、できあがりです。
(※幅が細く糸端が出てきやすいので、織り地の中に長めに隠してください)

プレスレットの図案



ネックレスの図案 (85cm)

